

CJKプロジェクト2009

期間：8月17日～28日

奈良県連盟 まほろば地区
宇陀第3団 ローバースカウト隊
西岡 秀忠

私は今回の海外派遣に参加し、本当にたくさんのことを学び、人生の視野を広げることができました。

この派遣の目的は、小学校や市民集会での保健衛生啓蒙活動（プロジェクト）と国際交流が主軸です。その目的に向けて共にした仲間が私の今回得た一番の宝物です。今回の日本クルーは、東京、千葉、神奈川、奈良、福岡。活動している県も違えば、年齢や経験も違う仲間がプロジェクトに向け一緒に準備した日々。そして現地フィリピンのマリキナでは、フィリピンローバースカウトをはじめ、韓国、台湾のローバースカウトが集まり、混成班を組みプロジェクトを遂行していきました。その中で築きあげられた友情は色あせることはないでしょう。

歴史や文化が違う国。だけど私たちにはなんの壁にもなりません。テレビや新聞では国同士のぎくしゃくした関係が報道されもしますが、むしろお互いを知り、理解しあう貴重な場でありお互いを尊重する心がそこにはありました。

ここで、「英語が話せないなら無理なのでは？」という質問があがりそうですね。実際、私も英語はできず、中学英語程度です。もちろん英語ができたほうがより多くの意思伝達ができいいことは間違いありません。しかしだからと言って諦めないでください。英語が話せないからというだけで海外派遣を諦めている人がいるならそれはものすごく損をしています。英語ができないことを嘆く前に伝える努力ができれば大丈夫です。ただし、プロジェクトに関しては、混成班内での会議での意見交換や小学生や地域住民と直接コミュニケーションしなければならないので、綺麗な文を話せなくていいですが伝えたいフレーズはすぐ出せるようにしておかないと少し大変です。

さて、次に私たちが行ったプロジェクトについて紹介したいと思います。上記でも書いたようにこのCJKプロジェクトは、小学校や市民集会で保健衛生啓蒙活動を目的に行われ、今回で7回目の派遣でした。私たち日本は歯磨き指導、韓国はマッサージ、台湾は石鹸での手洗い指導です。日本の歯磨き指導に関して、歯ブラシを持っている人は多いものの、磨き方が悪く虫歯（特に奥歯）になるケースが目立ちました。そしてその虫歯の進行具合が酷い段階の人がほとんどです。なぜならフィリピンでの虫歯の治療費（300～400P）が、一般世帯の月の収入（500～600P）と同じぐらいするため、親に言えず放置しているからでした。私は、だからこそ歯磨き指導が大切で、今後も続けていくことで虫歯を予防できる磨き方が根づいて欲しいと改めて感じました。

その他、各国の文化を紹介し、環境問題についての授業も平行して行いました。

最後に。大切な仲間を得たことももちろん貴重な体験ですが、私はプロジェクトというフィルターを通してフィリピンの実情、問題、人間的豊かさを見つめることができました。ただその問題を見つけただけで終わるのではなく、問題を解決する方法を考え何かの形として実行することが大切であり、これから自分が世の中で働く中でどのように関っていき繋がっていくのかという課題も見えました。